

農福連携フォーラム in 九州

農福連携魅力物語

長崎開催

2023
12/7 (木)
13:00~16:00

参加費
無料

農福連携の魅力とは？

障害者等の就労場の創出だけではなく、農業従事者の減少等の課題を抱える農業側にとっても、人手の確保や地域農業の維持・活性化等が期待でき、「農業」と「福祉」の双方の課題解決につながる取組として、様々な形で全国的な広がりを見せています。

農福連携の現場には、いきいきと農業に取り組む人々や、人と人とのつながり、そして丹精込めて育てられた農産物やそれらの付加価値を高める加工品など、多彩な魅力があふれています。この機会に是非、九州の地域資源を活用した農福連携のさまざまな取組について学んでみませんか。



農福連携フォーラム

開催形式

ハイブリッド開催
(現地参加 + オンライン参加)

現地 ▶ 出島メッセ長崎102
長崎県長崎市尾上町4-1



農福連携マルシェも
同時開催!

長崎浜屋1階アーケード
長崎市浜町7番11号
10時~17時まで開催して
います!(裏面参照!)

応募期間

12月4日(月)まで

定員

現地参加: 50名 オンライン参加: 300名以内
※オンラインは、Zoom利用となります。

お問い合わせ

株式会社農都共生総合研究所
noufuku@notosoken.jp
※メールいただき次第2営業日以内に返信申し上げます。

お申込はこちら ▶



フォーラム内容

ノウフクアワードに受賞・登壇された方を中心に講演とパネルディスカッションを行います。

■ 講演

[テーマ]

南高愛隣会が問う真の「共生社会」とは
~未来を耕す農福連携の実践~

ノウフク・アワード2020
審査員特別賞「人を耕す」



社会福祉法人 南高愛隣会 管理者
宇野 光央氏



■ パネルディスカッション

[テーマ]

九州の地域資源とつながりを
活かした農福連携

ノウフク・アワード2022 優秀賞
・社会福祉法人 出島福祉村 理事長
池田 賢一氏



ノウフク・アワード2022 チャレンジ賞
・社会福祉法人 みやこ福祉会
理事長 総合施設長
伊志嶺 博司氏



ノウフク・アワード2022 チャレンジ賞
・大隅半島ノウフクコンソーシアム 理事
今村 和也氏 結城 康文氏



〈コーディネーター〉

九州大学 准教授 渡部 岳陽氏

■ 法務省からの情報共有

法務省福岡矯正管区更生支援企画課 課長
福原 健悟氏

「再犯防止のための出所者等の居場所と
出番づくり ~農福連携の活用~」

※フォーラムの内容は、予告なく変更する場合がございます。

*登壇者の魅力ある取組の
詳細は右の二次元コードか
らご覧ください。

